



濱 諦弘

- 一、町おこしについて
- 二、学校統廃合問題について
- 三、ダイオキシンドラム缶について
- 四、獣害について
- 五、新卒職員について

問 能勢町は若い人々がどんどん出て行って、人口が減っております。大きな夢と多くのアイデアを持って一二期目を圧勝した町長は町おこしと活性化について、どう考えていますか？

答 三白三黒。米、寒天、お酒、クリ、牛、炭の特産品を磨き、能勢栗の振興とブランド化を目指しています。クリ焼酎も完成しました。

橋下知事のもと、大阪ミュージアム構想で、淨るり、長谷の棚田、野間の大げやき、高原野菜、ハーブ、ミネラルウォーターなどをアピールしています。

問 学校統廃合はしますか？

答 学校教育検討委員会の答申をいただきまして、教育委員会で審議し、方向性を示してまいります。

問 ハード面の、形も大切ですが、ソフト面、教育理念、思想、中身が大切かと思えます。

答 そのように思いますが、入れ物は工夫できますが、ソフト面が重要です。

問 ダイオキシンドラム缶は、永久にあのままでは困る。問題の風化が心配です。

答 もし22年度中に処理が出来なかつたら、豊能町にドラム缶を持ってゆく約束と決意で取り組んでおります。

問 獣害については、生態系の問題。針葉樹が増えて、里山が荒廃し、鳥獣の食糧事情が変わってしまった事も重要な原因と考えられますが。

答 そうです。森林の崩壊が大きな要因であり、対症療法でさくとかのやり方だけでは駄目です。財源を市町村に丸投げしない獣害対策を国もすべきです。

問 新卒職員を最後に採用したのはいつですか？

答 平成10年度採用2名、大卒が最後です。

問 正規雇用職員採用が平成18年という事で、6月議会にも答弁頂きましたが、新人の正規雇用職員の採用は、22年度を目標としているという事で変わりはありますか？

答 来年度の採用を目標にたまたま検討しています。

一般質問



今中 喜明

- 一、機構改革による事務、事業の精査について
- 二、火葬場建設の断念について

問 機構改革による事務、事業の精査について

答 本年四月に役場の機構改革をしましたが、その主旨と自主経営プランについて問う。

問 住民との接点である窓口の一本化、また子育てに関する部門を教育委員会に集約させるなど簡素で効率的かつ機動力のある体制を目指している。又、自主経営プランの7つの政策課題については現時点で言えないこともあるが、私の腹の中ではめどが付き取り組んでいるものも認識している(7つの課題とは、下排水処理計画、診療所のあり方、広域連携の方針、ダイオキシンドラム缶対策等)。

問 町有地の利活用について問う。

答 交流施設歌垣の現状と方針は、一応廃止の方向にあるが、再点検して地元区と管理等の可能性について検討中である。

問 海洋センター及び東西のプール跡地について

答 町長は、利用者の減少でもっと有効な利用方法があった、残念であるが町の財政を圧迫するような現状では存続していく価値がない、東西プールについては何とか利用したいと思っている(担当課)は、東プールは、自然休養村との一体的な土地利用を図る可能性を検討しつつ当面の間現状のとおり保有する。西プールは、地元の協力で出来た施設であり、府営水道を受水しての統合整備をするという経過があり現状は水道の資材置場として利用している。今後の使途については、地元に戻すか、水道会計ではなく町の普通財産にして移管するか、自主経営プラン等々の全体的な構想の中で考えていく。

問 火葬場建設計画について

答 全資協議会では、現時点においては建設を白紙に戻すと発言があったが、その通り理解しているのか。

問 現時点ではその通りですか。

答 現時点ではその通りです。

問 豊能町との広域での話しまで戻す考えであるのか。

答 戻す考えはない。

問 町単独で建設するのか、近隣市町との広域も考えているのか。

答 基本的には、町単独でするべきものと考えているが、今後あるべき広域連携のあり方、そして地方分権をやっていく中でできる限りお互いに無いところを助け合い、補うことが地域連携だと思ふ。ごみ処理場も府県を乗り越えて実現できたこととは高く評価するものと思うし、今後色々な取り組みの中で考えていく。